

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【公表番号】特表2009-505790(P2009-505790A)

【公表日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2008-529103(P2008-529103)

【国際特許分類】

A 6 1 F 11/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 11/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月4日(2009.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

聴覚保護装置であって、

第 1 末端部と第 2 末端部とを有するヘッドピースと、

該ヘッドピースに固定された第 1 イヤーマフであって、露出した多孔性材料を含む遠位外面及び近位外面を有し多孔性材料を含む第 1 イヤーカップを含む第 1 イヤーマフと、

前記第 1 末端部が、少なくとも部分的に位置決めされている第 1 チャンネルと、

該ヘッドピースに固定された第 2 イヤーマフであって、露出した多孔性材料を含む遠位外面及び近位外面を有し多孔性材料を含む第 2 イヤーカップを含む第 2 イヤーマフと、

前記第 2 末端部が、少なくとも部分的に位置決めされている第 2 チャンネルと、を含む聴覚保護装置。

【請求項 2】

前記第 1 イヤーカップの前記近位外面に固定された第 1 クッションと、

前記第 2 イヤーカップの前記近位外面に固定された第 2 クッションとを更に含む、請求項 1 に記載の聴覚保護装置。

【請求項 3】

前記第 1 及び第 2 イヤーカップの前記多孔性材料が発泡体を含み、

少なくとも一方のイヤーマフの前記イヤーカップ及びクッションが、単一の一体型構造体である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

少なくとも部分的に未反応の第 1 発泡体組成物を含む発泡クッションを、少なくとも部分的に未反応の第 2 発泡体組成物を含む発泡イヤーカップと接触させるステップと、

該第 1 及び第 2 発泡体組成物の連続重合により、該発泡クッションを該発泡イヤーカップに固着するのに十分な期間にわたって該発泡クッションと該発泡イヤーカップを互いに接触して維持するステップとを含む、イヤーマフを作製する方法。